



八鶴だより6月号

令和2年6月1日発行
 〒283-0802 東金市東金1410番地
 ☎0475-54-1581
 発行 千葉県立東金高等学校 定時制 教務部

夕食
 ○ 有
 △ 先
 × 無

1 不条理と向き合うこと

スティホームの期間は、日々健康に過ごしつつも、自宅学習したり、ニュースを見たり、読書をしたり、アルバイトをしたり、ときどきゲームをしてリラックスしたり……。みなさんも、それぞれの時間を過ごしたと思います。私は、自宅でテレワークしたり、出勤して、学校で仕事をしたり、今まで経験したことがない、「不条理」な経験に向き合って過ごしてきました。

不条理とは、どのような状態のことでしょうか？19世紀に活躍した、デンマークの哲学者キルケゴールが次のように定義しましたので引用します。

「不条理とは何か？それは、おそらく容易に理解できるだろう（中略）。私は、行動する、しかし、結果はすでに決まっておき、私はその一つの可能性をつかみ取って言う、これが私のやったことで、他のことはできなかった。これが私の意志がつかみ取った結果であるから」

つまり、わからない運命や状況下で、あまりにも人間は無力な存在となってしまいます。コロナウイルス感染症による社会の変化が、「不条理」だと、私は思います。私が、最近読んだ、フランスの作家アルベール・カミュ著の「ペスト」という小説は、194X年の当時フランスの植民地であったアルジェリアのオランという港町で、人々がペストという伝染病に対して、感染拡大を防ぐため、完全に遮断された都市で、どのように向き合ったかという小説です。

コロナウイルス感染拡大に対して、海外では、ロックダウンにより、感染症を封じ込めようという国も多数ありました。罰則も厳しく、スペインでは、外出禁止に反して逮捕されると、600ユーロ（72,000円）の罰金、感染していることを隠して、他人を感染させてしまったら最大7,200万円が課せられるそうです。また、感染拡大スピードが速かったイタリアでは、移動制限違反に関して法律を改正して、当初の25,000円の罰金から、一気に25倍の、61万円まで引き上げました。本話に戻ります。「凡庸な人間は、世界の大きさに対して、謙虚に向き合い、個人のできる限界を理解しつつも、自分のやるべきことに対して真摯に向き合うことが、誠実な生き方である。」学校再開で不安が多い中、みなさんとともに前に進むことを大切にしたいと思います。（秋山）

2 今月の行事予定



	曜		夕食
1	月	冷房開始	×
2	火		×
3	水		○
4	木		○
5	金		○
6	土		
7	日		
8	月		○
9	火		○
10	水		○
11	木		○
12	金		○
13	土		
14	日		
15	月	県民の日	○
16	火		○
17	水		○
18	木		○
19	金		○
20	土		
21	日		
22	月		○
23	火		○
24	水		○
25	木		○
26	金		○
27	土		
28	日		
29	月		○
30	火		○
31	日		

【今月の主な行事の変更について】

基本的には、ほぼ平常授業が続きます。

☆現時点で中止が決定された行事

- 定通野球大会
- 春季定通体育大会
- 県民の日→平常授業

☆今後の予定

- 期末考査→7/27（月）～30（木）
- 1学期終業式→7/31（金）
- 夏季休業→8/1（土）～31（月）
- 2学期始業式→9/1（火）

3 今月の言葉

只管打坐

し かん た ざ



【出典】正法眼蔵随聞記

ただひたすらに座禅することをいいます。仏教のことばの一つです。「只管」は、ただひたすらという意味です。「打坐」は、座禅することです。「只管打坐」とも書きます。「しかんだざ」と読むのは誤りです。道元が広めた、何も考えずに、ただひたすら坐禅するという修行の方法です。その根底には、坐禅する姿こそが悟りを得た仏の姿であるという考え方があります。道元は、その境地を「身心脱落」と呼び、自己を忘れることが仏道だと説きました。やるべきことを見失わないようにしましょう。